真野小だより

児童数：４６３名
Ｎｏ．２
令和４年４月１５日発行

学校教育目標『あかるく　やさしく　たくましく』

新学期が始まって1週間

昨年から継続して取り組んでいる「校訓：真野っ子 心を育てる３つの約束」＝「あいさつ　そうじ　言葉づかい」について、８日の始業式の講話で、２年生以上の児童に下記のような話をしましたので紹介します。

校長先生は、真野小学校を、子どもたち１人ひとりが「自分も人も大切に」して、「笑顔あふれる学校」にしたいと思っています。そういう学校にするために、皆さんは、引き続き『あかるく　やさしく　たくましい』子どもを目指してください。

では、具体的にどんなことを頑張るかですが、それは、去年から取り組んでいることです。２年生以上ですから、わかりますね？

それは「あいさつ　そうじ　ことばづかい」です。去年から取り組んでいることですね。

この「あいさつ　そうじ　ことばづかい」ですが、今年はワンランク上を目指します。

「あいさつ」も「そうじ」も「ことばづかい」も、自分だけが「やったつもり」では駄目です。例えば、「あいさつ」で言うと、「あいさつ」をしっかりしないのは、問題外ですが、ただ単に大きな声で怒鳴ったような「あいさつ」をすればよいのではありませんね。「心を込めてあいさつします」「あいさつ」したら、「あいさつ」された人が「清々しかったり」「よい気持ちになったり」する「あいさつ」が「心を込めたあいさつ」です。

もう１つ、「そうじ」で言うと、たんに「そうじをした」と「そうじができた」は違います。この違いがわかりますか？いくら本人が「そうじをした」つもりでも教室や廊下、校舎全体が綺麗に美しくなっていないと、意味はありません。だから「そうじをした」と「そうじができた」は違うのです。今年の「あいさつ　そうじ　ことばづかい」の「そうじ」は「そうじをした」ではなく、「そうじができた」です。掃除の時間内はただひたすら黙々と掃除をして、心も校舎も磨きましょう。

このようにワンランク上の「あいさつ　そうじ　ことばづかい」を実行しましょう。

今年度も「あいさつ　そうじ　言葉づかい」を校訓として取り組みます。

さて、新学期が始まって１週間が過ぎました。新しい集団になって、様々な不適応を示すことがありますが、長い目で考えると１つひとつが貯えになることです。しかし、本人にとっては大きな問題です。ご心配ごとやお悩みのことがある場合は、遠慮なく担任または教育相談担当（栗木葵教諭）にお話しください。

3年生個に応じた少人数指導について

昨年度に引き続き、滋賀県教育委員会「個に応じた少人数指導推進事業」により、３年生で習熟度別少人数指導を行います。加配教員として馬場敬子教諭を配置します。つまずきが起こりやすい３年生の算数科で、よりきめ細かな指導により児童の学ぶ力の向上を図ります。習熟度別少人数指導は、個に応じたきめ細かな指導の１つであり、確かな学力の育成を目指すものです。習熟の違いを踏まえた学習集団を編成することで、児童が個々の状況に応じて学習することができる環境を実現し、１人ひとりがわかることやできることの喜びを実感できるよう指導を行います。また、単元や指導内容によって、担任と加配教員の２名が学級全体の児童を指導することもあります。いわゆるティームティーチングです。２人の教員がそれぞれメインティーチャーとサブティーチャーに別れ、連携して授業を進めます。

高学年専科（教科担任制）について

文部科学省が進める高学年（５、６年）の「専科（教科担任制）」について、本校では昨年度から「学年担任制」という形で試行してきました。「専科（教科担任制）」については、中学校教育とのスムーズな繋ぎは勿論、学年の子どもたちを学年の教員集団プラス教務全員で見る、或いは教員の専門性を活かす観点から、導入されたものです。

本校では、専科（教科担任制）加配教員として、宗宮学教諭を配置し、５、６年の理科および５年生の書写を担当します。また、学年内で音楽科・図画工作科・家庭科を学年内の１人の担任がすべての学級の指導を行います。

４年生以下の学年においては、定期的ではありませんが、道徳科、真野っ子タイム等の教科学習、朝読書や給食等授業ではない時間を学年内で１人の担任がすべての学級を指導する指導者交流を進めて参ります。

令和4年度学校経営管理全体計画

令和４年度学校経営管理全体計画　　**大津市立真野小学校**

【学校教育目標】　あかるく　やさしく　たくましく

【めざす学校像】　笑顔あふれる学校　～自分も人も大切に～

【めざす子ども像】　よく考える子ども（知）

知性豊かで、創造力に富み、自分の考えをしっかり持てる子ども

思いやりのある子ども（徳）

公正で、思いやりがあり、みんなのために自分を生かす子ども

心も体もたくましい子ども（体）

健全な身体と旺盛な気力を持ち、最後までやり遂げる子ども

教職員の姿勢

切磋琢磨　～教育は人なり～
自ら求めて学び続ける教職員・ＯＪＴ推進

協働・協同・共同　～チーム真野～
つながりを大切にして子どもを育てる

愛情をもって誠実に　～子どもの姿で語る～
やさしいけれど甘くない
きびしいけれど冷たくない

校訓：真野っ子　心を育てる３つの約束

あいさつ
心を込めてあいさつしよう

そうじ
黙々と掃除をして、心も校舎も磨こう

言葉づかい
目と耳と心で聴いて、正しい言葉づかいで話そう

３つの重点と共通実践　（キーワード：つなぐ）

「学ぶ力の育成」「個別最適化された学びの実現」「いじめをしない、許さない人間関係づくり」

学びをつなぐ

知識技能の習得・定着、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点からの授業改善
- 学習指導要領の主旨を踏まえた教育実践の充実
- ＩＣＴ活用による学びの充実
- 合理的配慮と個に応じた学習支援の充実
- 「真野っこタイム」での基礎基本の習得と定着

心をつなぐ

命、人権を大切にして、いじめを許さない、居心地のよい集団づくりと人間性等の涵養
- 道徳科の充実による「自分も人も大切にする」心の耕し
- 児童に寄り添う教育相談や対話の実践
- 児童会活動等による自発的、自治的活動の推進

命をつなぐ

たくましく生きるための健康、体力の保持増進、運動習慣の形成
- 体育指導の充実による体力向上
- 健康教育、食育の充実と保護者への啓発推進
- 安全点検の徹底と環境整備の推進

学校運営協議会・地域と保護者、関係機関との協働

地域と共にある学校：目標共有・情報発信・情報共有

随時更新しています！真野小学校Webページをご覧下さい！

学校行事や学習活動の様子を随時紹介しています。是非ご覧下さい。

真野小学校　検索

ＵＲＬ：http://www.otsu.ed.jp/mano-e/